

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千九百九十四號

昭和十七年一月十五日(木)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第五一一號

本年一月十五日現在左記上欄各部ノ職名ヲ有スル者ハ
特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ各下
欄ノ相當職員ニ補命セララル義ト心得ベシ

昭和十七年一月十五日

海軍大臣

記

漢口方面特別根據地隊	漢口警備隊
厦門方面特別根據地隊	厦門警備隊
青島方面特別根據地隊	青島警備隊

官房機密第五一二號

今次戰爭中臨戰準備上陸揚シタル艦載艇保管處ノ所屬
長官ハ保管地附近ノ陸上部隊、官衙、學校等ニ於テ雜

海軍公報 (部内限) 第三千九百九十四號

昭和十七年一月十五日

三九

役船不足シ任務上支障アルモノニ限リ其ノ保管ニ移シ
之ガ保存整備ニ任セシムルト共ニ當該搭載艦船不在中
之ヲ使用セシムルコトヲ得

此ノ場合ニ於ケル艦載艇ノ取扱ニ付テハ當該使用ノ陸
上部隊、官衙、學校等ニ貸與シタルモノニ準ズ
前項ノ場合ニ於テハ其ノ旨海軍大臣ニ報告シ當該搭載
艦船ノ所屬長官ニ通報スベシ

昭和十七年一月十五日

海軍大臣

○通 牒

軍需機密第三〇六號ノ三

昭和十七年一月十五日

海軍省軍需局

關係各廳御中

内地ニ於ケル海軍軍用鮮魚介配給ニ關スル
件通知

首題ノ件豫テ農林省ト折衝中ノ處別紙農林省ヨリノ同

答ニ依リ實施ノコトトナリタルニ付了知相成度
追而別紙中農林省へ通知ヲ要スル事項ニ付テハ二月
二十日迄(異動ヲ生シタルトキ及荷受計畫ノ十七年
後期以降ノ分ハ其ノ都度)ニ當局ニ通報相成度

(別紙)

一六食局第六二〇八號

昭和十六年十二月十五日

農林省食品局長

海軍省軍需局長殿

海軍軍需用鮮魚介配給ニ關スル件

今般海軍軍需用鮮魚介配給ニ關シ別紙海軍軍需用鮮魚
介配給要綱ニ基キ需要數量御報告相成度此段及照會候
也

追而當省ニ於テハ鮮魚介配給統制規則ニ依ル昭和十
七年度前記出荷計畫並配給計畫ノ都合有之候ニ付十
二月二十日迄ニ取纏メ御回報相煩度候尙別紙海軍軍
需用鮮魚介配給要綱ニ付テハ豫メ貴省係官ト打合濟
ニ有之候條爲念申添候

海軍軍需用鮮魚介配給要綱

一、海軍常駐部隊用

- 1 軍港要港及ビ部隊ノ所在地附近ニ適當ナル配給
市場所在セザル部隊ノ需要ハ指定陸揚地鮮魚介出
荷統制組合ヨリ軍ノ所在スル荷受機關ニ送荷配給
スルコト
- 2 軍港要港ヲ除ク部隊(官衙學校ヲ含ム)ノ所在
地ニ適當ナル配給市場所在スル場合ハ其ノ配給市
場ヨリ軍ノ指定スル荷受機關ニ配給スルコト
- 3 海軍省ハ前二項ニ依ル荷受機關ヲ指定シ左記ノ
名稱ヲ附與ス「〇〇海軍鮮魚介納入組合」(部隊所
在地名ヲ冠稱ス)右荷受機關ノ名稱代表者住所氏
名ハ海軍省ヨリ農林省ニ通知スルコト
- 4 海軍省ハ各部隊毎ニ月別納入所要量ニ附荷受機
關ニ於テ集荷取引ノ實狀ニ基ク出荷統制組合又ハ
配給市場ヨリノ荷受計畫ヲ樹ラシメ之ヲ取纏メ農
林省ニ通知スルコト
- 5 荷受計畫ヲ樹ソルニ當リテハ一ヶ月ヲ單位トシ
一ケ年ヲ自三月至八月ノ前期ト自九月至翌年二月
ノ後期トニ分チ鮮魚介ノ類別(鮮魚介配給統制規
則ニ依ル類別)毎ニ購入地別所要豫定數量(貫單
位)ヲ記入シ各期ノ二ヶ月前ニ農林省ニ通知スル
コト

二、海軍行動艦船特別需用

行動艦船内地港灣ニ入泊シ鮮魚介ノ補給ヲ要スル場合ハ左記ニ依リ處理スルコト

1 海軍省ハ内地主要港灣ニ豫メ其ノ荷受機關ヲ指定シ置クコト

2 海軍艦船(徵備船ヲ含ム)内地港灣ニ入港シ鮮魚補給ヲ要スル場合ニハ相當期間前ニ鮮魚介所要量ヲ所管地方長官ニ之ガ準備ヲ要求スルモノトス

3 地方長官ハ前記ノ通知ヲ受ケタル場合ハ鮮魚介配給統制機關ヲシテ供出ニ付必要ナル措置ヲナサシムルコト

三、陸海軍軍需用冷凍原料用罐詰原料用

1 軍需用ノ冷凍原料用罐詰原料用鮮魚介ニ付テハ陸軍省、海軍省ハ所要量ニ付各發註工場ヲシテ

出荷統制組合又ハ配給市場ヨリノ購入計畫ヲ樹テシメ其ノ住所、名稱、購入地、魚種(鮮魚介配給統制規則ニ依ル類別)ヲ月別ニ集計取纏メテ農林

省ニ通知スルコト

2 購入計畫ヲ樹ツルニ當リテハ一ノ五ノ例ニ依ルコト

航本機密兵整第三一號

昭和十七年一月十三日

海軍航空本部長

第一、第二、第十一、第十二、第一百、第一百一、第一百二、第一百三、第一百四、

各海軍航空廠長

第五、海南、

大湊

第十一海軍航空廠

舞鶴

第十二海軍航空廠

鎮西

第二十一海軍航空廠

鹿屋

支廠長

殿

兵器保管轉換ノ件通牒(整備長主管) 在庫(註文中ノモノハ庫納ノ都度)竝ニ供給中ノ各種飛行機(艇)及各種發動機用植込ボルト、ボルト、ナット(特殊止ナットハ含マズ)(消耗兵器)ヲ通常物品會計官吏ニ保管轉換スベシ

○ 辭 令

第二海軍軍用郵便所員ヲ命ス 通信書記 西藤 義春

(各通) 事務員 岡田 靜馬

第二海軍軍用郵便所員ヲ命ス 同 乾 慶助

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上ハ海軍省)

海軍中佐 後藤 茂

海軍武功調査委員ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス

通信書記 荻原 幸一

第八海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上ハ同)

海軍少佐 成 谷 昇(劍崎)

(各通) 海軍機關少佐 椎名 壽郎(同)

海軍機關大尉 岡田 末信(同)

軍艦劍崎審議委員ヲ命ス(昭和十六年十一月十五日海軍艦政本部)

○ 雜 款

○郵便物發送先

自今左ニ依リ發送相成度

横須賀郵便局氣付 壹壹六〇

(第十八航空隊副官)

○事務所設置

第一百一經理部ハ一月十五日海軍省第一分室内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

電話省内(八八三番
七九三番)

○訂正

本月八日雜款欄中中島部隊宛「八十二」ヲ「四十二」ニ訂正ス

○正誤

昭和十六年十二月四日令達欄官房第六二八七號第一項中「一〇・五瓦以内」ハ「二瓦以内」ノ誤

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 雜 款

○ 懲 罰

懲罰言渡書

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年一月十五日 (木)

海軍大臣官房

1058

海軍公報 (部内限) 號外

二

1059

海軍公報 (部内限) 號外

三

1060

海軍公報 (部内限) 號外

四

1061

海軍公報 (部内限) 號外

五

1062

海軍公報 (部内限) 號外

六

1063

海軍公報 (部内限) 號外

七

1064

海軍公報 (部内限) 號外

八

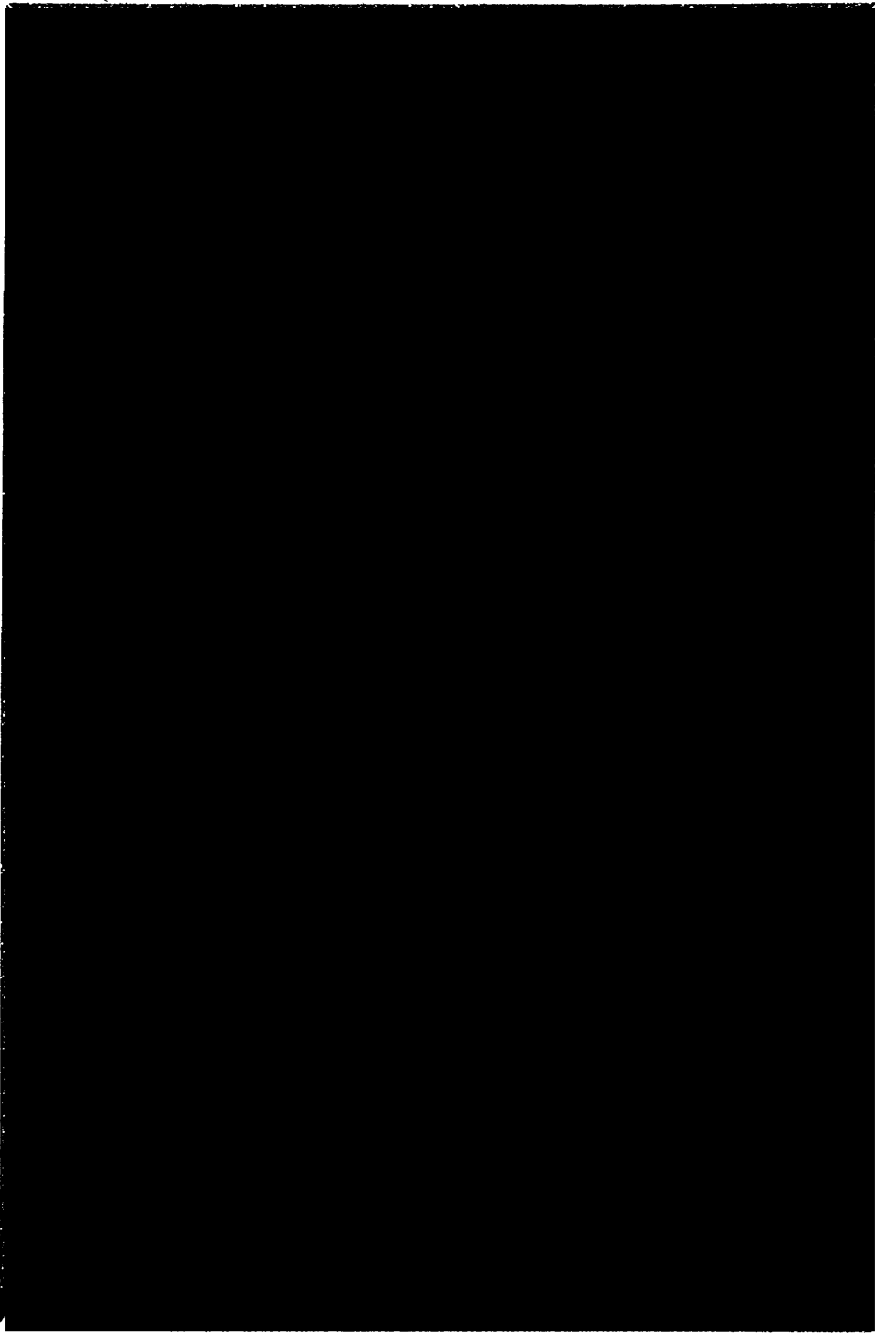
1065

海軍公報 (部内限) 號外

九

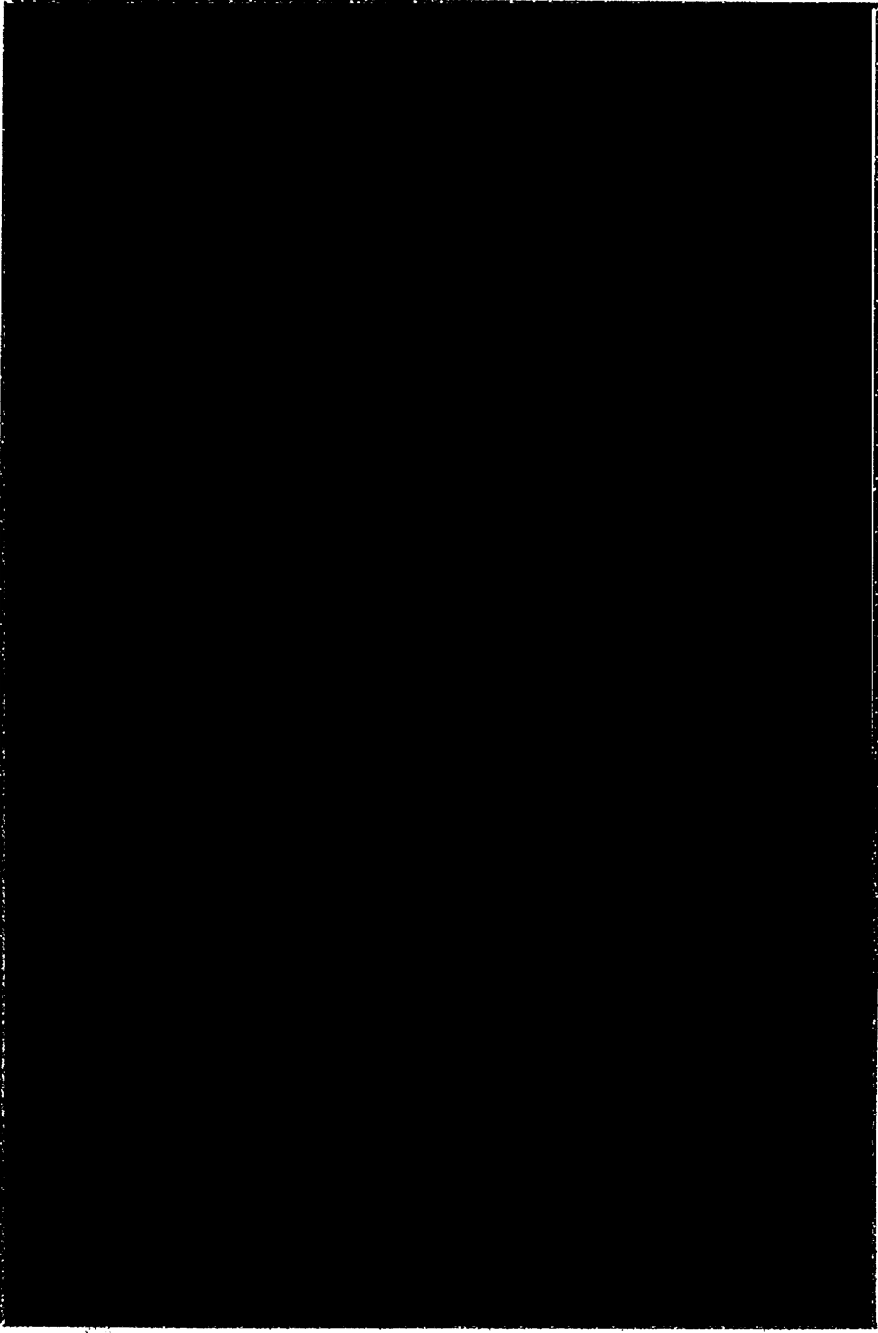
1066

海軍公報 (部内限) 號外



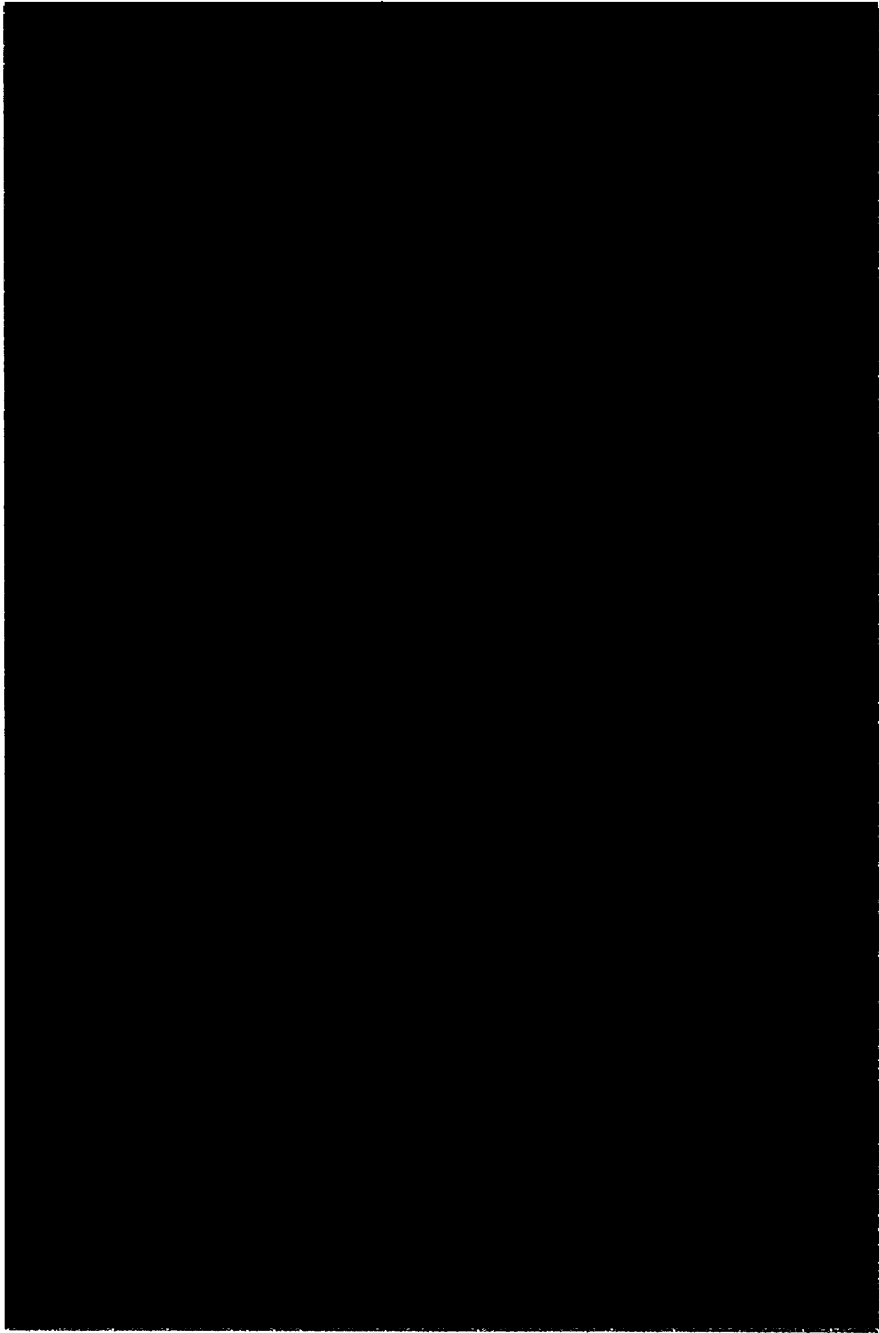
1067

海軍公報 (部内限) 號外



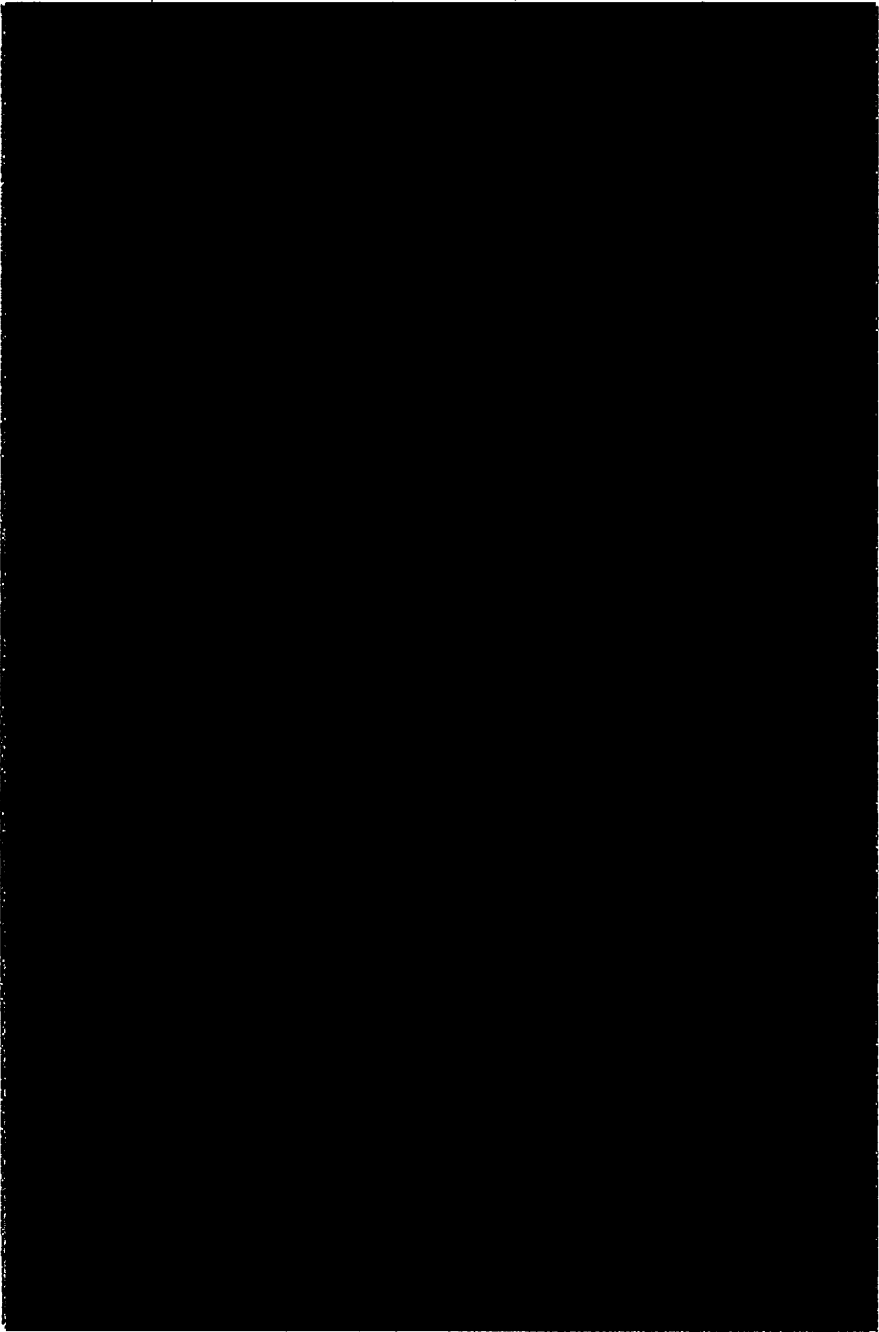
1068

海軍公報 (部内限) 號外



1069

海軍公報 (部内限) 號外



1070

海軍公報 (部内限) 號外



一四

1071

海軍公報 (部内限) 號外

一五

1072

海軍公報 (部内限) 號外

一六

1073

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千九百九十五號

海軍大臣官房

昭和十七年一月十六日(金)

○ 告 示

海軍省告示第一號ノ四
旅順警備府軍法會議ハ之ヲ廢止ス 鎮海警備府軍法會議
ヲ其ノ後繼軍法會議ニ指定ス
昭和十七年一月十五日

海軍省
則登載

海軍大臣

○ 令 達

官房第八七號ノ二

昭和十七年一月九日

海軍大臣

献金運用委員會委員長殿

献金運用委員會ニ關スル件訓令

委員長ハ委員ヲ督シ國防献金、恤兵金及學藝技術獎勵
金ノ運用方針ニ關スル事項ヲ處理スベシ

官房第一九六號

當分ノ間艦船部隊ニ於ケル准士官以上各室食料ノ運用
ニ付テハ海軍給與令第八十一條第一項第一號及海軍給
與令施行細則第二十表ノ二備考第一號ニ依ルモノヲ除
キ左記ニ依リ處理スベシ

記

現地ニ於テ食糧品購買可能ノ場合ノ外ハ海軍給與令第
八十一條第二項ニ依リ糧食品ヲ給スルコトヲ准士官
以上各室用食糧品(特殊調味品ヲ除ク)ノ海軍軍需部
ヨリノ追送ハ之ヲ行ハズ

昭和十七年一月十六日

海軍大臣

官房機密第五五五號

特修兵ノ服役義務ニ關スル戰時特例左ノ通定ム

昭和十七年一月十六日

海軍大臣

當分ノ間普通科各種練習生教程ヲ卒業シタル者ハ大正

海軍公報 (部内限) 第三千九百九十五號

昭和十七年一月十六日

四三

1074

十二年達第二百十三號ヲ適用セズ
本令ハ昭和十七年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

參照 大正十二年達第二百十三號ハ特修兵ノ服役義務ニ關スル件ナ
リ(諸例則卷二、一〇九頁)

○通牒

經豫機密第三號ノ二二

昭和十七年一月十五日

海軍省 經理局

關係各支出官、資金前渡官吏殿

軍票ト「バート」貨ノ交換率ノ件通知

首題ノ件ニ關シ泰國駐在主計科士官ト當局第一課長ト
ノ間ニ左ノ通質問應答セリ

(問)

に號軍票ト「バート」ト交換ノ要アリ十二月二十八
日大藏省告示ノ交換率ニ基キ海峽弗一五五弗七〇ニ
付一〇〇「バート」トシ差支ナキヤ

(答)

貴見ノ通交換差支ナシ、但シ軍關係經費ノ場合ニ限
ル

尙現在貴方手持「バート」トノ交換ハ該「バート」
受入當時ノ日本圓トノ交換率ニ依ラレタシ爲念

航本機密第四八三號

昭和十三年航本機密第七九〇六號及昭和十六年航本機
密第一一六三三號航空發動機附屬品及動力關係艤裝品
ノ名稱表中左ノ通改正ス

昭和十七年一月十五日

海軍航空本部長

記

一、磁石發電機ノ項中

「國産12 A F 磁石發電機」ヲ「空廠12 C F 磁石發電
機」ニ改ム

○辭令

第五根據地隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス 岡野 格平

但シ報酬年額千八百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト
ス(昭和十七年海軍省)

軍令部ニ於ケル調査事務ヲ囑託ス 中田 實
但シ報酬年額九百六拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇

トス (昭和十六年同)

(各通) 陸軍中佐 福士剛
陸軍少尉 三原勝

横須賀鎮守府ニ於ケル業務ヲ囑託ス

本田敬之
篠原春一郎
石上全尙
鈴木友茂
橋本國雄
川原鐵治郎

(各通)

横須賀鎮守府ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (以上昭和十六年同)

海軍中將 澤本頼雄
海軍少將 岡敬純
同 中原義正
同 保科善四郎
海軍主計中將 武井大助
海軍大佐 橋本象造
同 富永昌三
同 高田利種

(各通)

海軍主計大佐 鈴木久
献金運用委員会委員ヲ命ス (以上昭和十六年同)

(各通) 澁田見秀雄
池永實重

佐世保鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
關稅官 橋本利八

佐世保鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託ス (以上昭和十六年同)
海軍主計中尉 矢野泰男

第八設營班ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス (昭和十六年) 海軍省 經理局長)

○ 雜 款

郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度
一月十七日以後

佐世保海軍軍需部内
(第一百一海軍軍需部)

○ 殘務整理
吳警備戰隊司令部殘務整理ハ一月十五日ヨリ吳海兵團内ニ於テ行フ

海軍公報 (部内限) 第三千九百九十五號 昭和十七年一月十六日

四五

○上海福岡間海軍軍用定期航空開設

一期間

昭和十七年一月十四日ヨリ當分ノ間

二 運航回數及發着時刻

每週 水曜 金曜 各一回

上海發

○九〇〇

福岡着 一三〇〇

福岡發 一三三〇

上海着 一七三〇

三 輸送人員並ニ物件

海軍軍人軍屬及海軍公用文書並ニ海軍公用貨物ヲ主

トシ搭載量ニ餘裕アル場合ニハ海軍ニ於テ必要ト認

ムル部外者ヲ便乗セシムル事ヲ得

四 輸送統制官

上海方面……………上海在勤海軍武官

福岡方面……………所在海軍指揮官ニ依賴

(支那方面艦隊司令部)

○訂正

本月十三日辭令欄中海軍主計少佐堤盛雄辭令文「第百

一海軍經理部」ヲ「第二海軍工作部」ニ訂正ス

○正誤

本月九日海軍公報(部内限)別表統制契約締結一覽表

中「三井株式會社」ハ「三共株式會社」ノ誤

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千九百九十六號

昭和十七年一月十七日(土)

海軍大臣官房

○通牒

兵備勞第三四號

昭和十七年一月十七日

海軍省兵備局長

關係各廳長殿

國民徵用扶助規則實施ニ關シ通報交換ノ件
申進

首題ニ關シ別紙ノ通厚生次官ヨリ照會有之候條可然通報相成度

(別紙)

厚生省發職第一九九號

昭和十六年十二月二十三日

厚生次官

海軍次官殿

國民徵用扶助規則實施ニ關シ通報交換ノ件

國民徵用扶助規則實施ニ關シ別紙ノ通報ノ交換ヲ爲

スコトト致度候條御了承ノ上關係ノ向ニ可然御示達方御取計相煩度及照會候

國民徵用扶助規則實施ニ關シ陸海軍ト
通報交換ノ件

- 一 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ長ハ其ノ使用スル被徵用者ガ故意又ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲徵用ヲ解除セラレ又ハ死亡シタルトキハ速ニ當該被徵用者タリシ者ノ住所地市町村長ニ其ノ旨通報セラレタキコト
- 二 扶助ヲ申請アリタルトキハ扶助ヲ受ケントスル者ノ住所地地方長官又ハ住所地市町村長ヨリ被徵用者ヲ使用シ又ハ使用シタル官衙ノ長ニ「被徵用者ノ徵用ニ關スル事項」ニ付照會ヲ爲スベキニ付之ガ照會ヲ受ケタルトキハ調査ノ上直ニ通報セラレタキコト
- 三 扶助ヲ受ケントスル者ノ住所地地方長官ニ於テ扶助ノ開始、廢止若ハ停止又ハ扶助ノ程度若ハ方法ノ變更ヲ爲シタルトキハ被徵用者ヲ使用シ又ハ使用シ

海軍公報(部内限)第三千九百九十六號

昭和十七年一月十七日

四七

1078

タル官衙ノ長ニ其ノ旨通知ヲ爲スベキコト
 四 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ長ハ其ノ使用スル被徵用者ニシテ扶助ヲ受クル家族ヲ有スルモノガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ速ニ扶助ヲ行フ地方長官ニ其ノ旨通報セラレタキコト

(一) 支給ヲ受クル給料、賃金又ハ給料、賃金ニ準ズベキ給與ノ額ニ著シキ變更アリ扶助ノ廢止又ハ扶助ノ程度ノ變更ヲ要スト認メラルルトキ

(二) 國民徵用扶助規則第十六條、第十七條、第十九條又ハ第二十條第一項ニ該當スルトキ

(三) 従事スベキ總動員業務ヲ行フ官衙ニ付徵用ヲ變更セラレタルトキ

(様式添)

(參照 昭和十六年十二月二十二日官報厚生省令第六十八號國民徵用扶助規則)

○ 辭 令

中山 忠治郎
 山縣 文樹

(各通)

愛甲 溫彦
 大長 弘
 山下 清高
 大山 源七郎
 山越 富雄
 山田 昇一郎
 中島 丈夫
 奥村 豊
 井出 伊武
 守田 長兵衛
 山下 涌資
 小畑 政次
 伊藤 文久
 大沼 滿
 大田原 尙清
 増田 宏夫
 日下 賢城
 渡邊 武治
 小出 英忠
 片山 傳
 渡邊 友好

海軍機關少佐 中村 威
海軍機關大尉 川口 榮一
海軍用語調査委員會臨時委員ニ指定ス(昭和十七年二月十七日)
軍用語調査委員會委員長)

○ 雜 款

○書類發送先
自今左ニ依リ發送相成度

一月十九日迄ニ到達見込ノモノハ

海軍省構内第百一經理部假事務所

一月二十四日迄ニ同

佐世保海軍經理部内 右 同

其ノ後ハ 佐世保郵便局氣付第百一海軍經理部

(第百一海軍經理部)

○試験問題送付ノ件

當隊當分ノ間單獨試驗施行ノ豫定ニ有之候ニ付各種練習生試験問題(參部)ハ「朝鮮慶尙南道鎭海郵便局氣付驅逐艦芙蓉司令宛」直送方取計相成度

(第三十二驅逐隊)

海軍公報 (部内限) 第三千九百九十七號

昭和十七年一月十九日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房第二五四號

昭和六年官房第三三五六號中左ノ通改正ス

昭和十七年一月十九日

海軍大臣

第二號艦營需品ノ項中範圍ノ欄末尾ニ左ノ如ク加フ
海軍需部(特設海軍需部、軍需部支部及軍需支庫ヲ含ム)ニ於テ保安上緊急整備ヲ要スル物品(昭和十六年官房第六七三一號)

(參照) 昭和六年官房第三三五六號ハ艦營需品燃料及治療品ノ繰替供給ヲ爲シタル場合ノ取扱方ノ件ナリ(會計法規類集四卷二二七頁參照)

官房機密第七三一號

當分ノ間高等科整備術練習生ノ修業期間ヲ約八ヶ月ニ短縮スルコトヲ得

昭和十七年一月十九日

海軍大臣

○辭 令

(各通)

海軍大佐 堀江義一郎(艦本)
海軍中佐 佐藤 佐(同)
海軍豫備大尉 篠田 勇(毛驅潛)
海軍技師 米元 竹平(艦本監)
同 田坂 覺造(同)
同 菊池 正人(同)

第二十七號驅潛艇審議委員ヲ命ス

海軍大佐 堀江義一郎(艦本)
海軍中佐 池端 鉄郎(同)
同 田中 正雄(同)
海軍少佐 黒木 照男(軍務)
同 岩城 繁(軍令)
海軍機關中佐 上田 博(艦本)
海軍機關少佐 山上 實(同)
海軍造船大尉 埴田 清勝(同)
海軍技師 石橋 福次(艦本監)

(各通)

海軍公報(部内限) 第三千九百九十七號

昭和十七年一月十九日

五一

同 大野 英雄(同)
同 小野寺 廣介(同)
第一號掃海特務艇審議委員ヲ命ス(以上 海軍艦政本部)

○ 雜 款

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度
横須賀郵便局氣付 五〇五貳
(第二十四航空戰隊司令部)

○定期航空輸送ニ關スル件
横鎮第一八九六號(横鎮公報(部内限) 十二月三日、
海軍公報(部内限) 十二月十一日所載)ニ依ル定期航
空便ハ一月十二日以降發着地木更津ヲ羽田ニ改メラレ
當隊トハ無關係トナリタルニ付爾今人員貨物輸送ニ關
シテハ横須賀鎮守府副官部又ハ海軍航空本部總務部ニ
照會相成度
(木更津海軍航空隊)

○正誤
一月十五日部内限公報三九頁下段三行目「得」ヲ下ニ
四行及五行ハ續クモノトス

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千九百九十八號

海軍大臣官房

昭和十七年一月二十日(火)

○令 達

官房第二八八號

昭和十六年官房第六七〇七號ニ依ル第二十三海軍軍用郵便所ハ一月十日ヨリ事務ヲ開始ス

昭和十七年一月二十日

海 軍 大 臣

(昭和十六年十二月二十六日本欄参照)

○通 牒

官房第二八九號

昭和十七年一月二十日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

事變關係市外通話優先取扱ニ關スル件通牒

昭和十四年三月三十日附官房第一六四號首題通牒中左記ノ通改メラレ候

海軍公報(部内限)第三千九百九十八號 昭和十七年一月二十日

追テ本取扱ハ近時甚ダシク激増シ爲ニ却テ其ノ價值減少スル虞有之趣ニ付自今方己ムヲ得ザルモノ以外ハ取扱ハザル方針ニ付了知相成度

記

東京監督官事務所ノ電話番号「九段二五二番」ヲ「九段四二八一番」ニ改メ左ノ如ク追加ス

相手應名	電話番號	相手應名	電話番號
横須賀海軍工廠	横須賀 八番	吳海軍工廠	吳 五一六一番
同造兵部	田浦二五八番	神戶海軍監督官事務所	兵庫 二七番
吳鎮守府	吳五一〇一番	横須賀海軍需部	横須賀 九番
海軍技術研究所	大崎 三一〇一番	海軍航空技術廠	田浦 三六二番
		海軍技術研究所	平塚 二三一番
		化學研究所	

五三

海軍公報(部内限) 第三千九百九十八號 昭和十七年一月二十日

廣島海軍監督官事務所 廣島中 一七七〇番		橫須賀鎮守府 橫須賀 二番		同造兵部 田浦 二八番		東京在勤 海軍武官府 三田 五一二二番		名古屋在勤 海軍武官府 各古屋 五二〇番		大津在勤 海軍見張所 波切 七一七番		御前崎 海軍見張所 御前崎 五四番		海軍省 銀座 三一一番		海軍省 銀座 三九四六番		航海本部 銀座 五二七八番		佐世保鎮守府 佐世保 四一〇一番		吳海軍工廠 吳 五一六一番		廣島海軍工廠 吳 四三二八番		海軍航空廠 佐世保 四二二二番		海軍工廠 佐世保 四二二二番	
<p>兵備三第一號ノ五 昭和十七年一月二十日 海軍省兵備局長</p> <p>關係各廳長殿 聯合艦隊郵便局廢止ニ關スル件通知 聯合艦隊ニ第二十三海軍軍用郵便所設置ニ伴ヒ聯合艦隊郵便局ハ一月十日ヨリ當分ノ間閉鎖セラレ候 (諸例則卷一、四三八頁參照)</p> <p>○ 辭 令</p> <p>海軍諸例 則削除</p>																													
舞鶴海軍工廠 東舞鶴 五一〇番		第三海軍燃料廠 徳山、 二五番		大阪海軍監 北濱 五〇〇一番		神戶海軍監 兵庫 二七番		玉海軍監督 玉 一九番		八幡海軍監 八幡 一五五七番		福岡海軍監 福岡東 三九四〇番																	

五四

大湊海軍經理部
員海軍主計大尉

芝 直昭

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少佐 小笠 熊男

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上昭和十六年)支出官 海
軍省經理局長)

(各通)

岡安 晴昌
市野 恒吉

海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額四拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待
遇セララル

第二課附ヲ命ス(昭和十六年)海軍運輸部)

○ 雜 款

○司令砲艦變更

第一砲艦隊司令ハ一月十日司令砲艦ヲ慶興丸ニ變更セ
リ

○便郵物發送先

自今左ニ依リ發送相成度

佐世保便郵局氣付 那智山丸工作部

(第十一特別工作部)

○事務所移轉

第十一特別工作部ハ昭和十七年一月二十日海仁會佐世
保集會所ヨリ那智山丸ニ移轉セリ

○正誤

本月十七日辭令欄中「海軍少佐寺嶋昌善」ハ「同寺嶋
昌善」ノ、「同佐藤祐生」ハ「海軍少佐佐藤祐生」ノ孰
モ誤

海軍公報(部内限) 第三千九百九十八號 昭和十七年一月二十日

五五

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千九百九十九號

海軍大臣官房

昭和十七年一月二十一日(水)

○ 辭 令

第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局) 海軍少佐 岡本 孝一

第百一海軍經理部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(海軍省經理局長) 海軍主計大尉 小堀 雅美

○ 雜 款

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

一月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ
佐世保海軍病院内 第百一海軍病院
其ノ後ハ 佐世保郵便局氣付
(第百一海軍病院)

○書類發送ニ關スル件照會
當隊ハ任務行動ノ關係上庶務、給與事務共濱田隊ト別

個ニ處理致居候條關係令達、配布書類等總テ左ニ依リ別ニ一通ヲ濱田隊宛發送ヲ得度

海軍荒木部隊
高雄海軍航空隊氣付 海軍荒木部隊
海軍荒木部隊濱田隊
高雄海軍航空隊氣付 海軍荒木部隊濱田隊
(第一航空隊)

○事務開始並ニ移轉
第百一海軍病院ハ一月二十日海軍省醫務局内ニ於テ事務ヲ開始シ同二十一日佐世保海軍病院内ニ移轉ス

○工場開設
第十一海軍航空廠器材部小松島補給工場ヲ一月十日徳島縣那賀郡坂野町ニ開設ス
追テ下車驛ハ徳島縣小松島驛尙郵便物ハ徳島縣小松島郵便局氣付

○事務所撤去
第百一海軍經理部事務所ヲ一月十九日撤去セリ

海軍公報 (部内限) 第三千九百九十九號 昭和十七年一月二十一日

五七

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千號

昭和十七年一月二十二日 (木)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一五號ノ三六

昭和十七年一月二十日

海軍大臣

横須賀、吳、
佐世保、舞鶴
大湊、鎮海
馬公、海南
鎮守府司令長官
警備府司令長官
殿
兵器簿ノ件通達
兵器簿整備長主管ノ部中品名ヲ左ノ通改正ス

新 品 名	數 稱	舊 品 名	數 稱	記 事
一式陸上攻撃機 一型	機	一式陸上攻撃機々々 一型	基	完備機扱フ必要トスル ニ付(以下同ジ)
九六式陸上攻撃機 一型	機	九六式陸上攻撃機々々 一型	基	
同 二型	機	同 二型	基	
九七式一号艦上攻撃機	機	九七式一号艦上攻撃機々々 二型	基	
九七式二号艦上攻撃機	機	九七式二号艦上攻撃機々々 二型	基	
九七式三号艦上攻撃機	機	九七式三号艦上攻撃機々々 二型	基	
九九式艦上爆撃機	機	九九式艦上爆撃機々々 二型	基	
零式一号艦上戦闘機 一型	機	零式一号艦上戦闘機々々 一型	基	

海軍公報 (部内限) 第四千號 昭和十七年一月二十二日

五九

1089

同	二型	機	同	二型	基
九八式陸上偵察機	二型	機	九八式陸上偵察機々々	二型	基
同	二型	機	同	二型	基
零式一号観測機	一型	機	零式一号観測機々々	一型	基
零式一号水上偵察機	一型	機	零式一号水上偵察機々々	一型	基
零式一号小型飛行機	一型	機	零式一号小型飛行機々々	一型	基
九八式水上偵察機		機	九八式水上偵察機々々		基
九一式二号飛行艇		機	九一式二号飛行艇々々		基
九七式二号飛行艇	一型	機	九七式二号飛行艇々々	一型	基
同	二型	機	同	二型	基

備考

完備機トハ昭和十一年六月二十九日航本機密第一

二〇七號通牒通

官房機密第九〇〇號

昭和十六年官房機密第二一四三七號中左ノ通改正ス

昭和十七年一月二十二日

海軍大臣

第一號供給擔任區分中「第一、第六特設設營班」ヲ
 「第一、第六、第八特設設營班」ニ、「第七特設設營班」ヲ
 「第七、第九特設設營班」ニ改ム
 第五號ヲ第七號トシ以下順次繰下グ第四號ノ次ニ左ノ
 二號ヲ加フ

五 設管用物品中擔任會計官吏又ハ他ノ會計官吏ヨリ供給ヲ受クルノ暇ナキモノハ前渡資金ノ範圍内ニ於テ當該特設設管班資金前渡官吏之ヲ購買スルコトヲ得

六 特設設管班ニ於テ前號ノ規定ニ依リ物品ヲ購買シタルトキハ取扱主任ハ別紙様式ノ購買物品調書ニ通(一通ハ納票ニ、一通ハ領收票ニ代用ス)ヲ擔任會計官吏ニ送付シ受入ノ手續ヲ爲スモノトス

附則

本令中第八特設設管班ニ關スル規定ハ昭和十六年十二月三十一日ヨリ、第九特設設管班ニ關スル規定ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ適用ス

(別紙添)

(參照) 昭和十六年官房機密第一一四三七號ハ特設設管班ニ要スル機械、器具及材料ノ供給及整理ニ關スル件ナリ、

○通牒

經監一第一二號

昭和十七年一月二十一日

海軍省經理局長

各支出官
各出納官吏 殿

計算證明證書調理様式ニ關スル件通牒

當分ノ間首題ノ件ニ付左記ニ依リ處理相成度

記

- 一 恒例諸給與支給調書ニ於ケル支給人員ハ之ヲ掲記セザルコト
- 二 工員、鑛員(人夫)賃錢領收證書ニ於ケル人員ハ之ヲ掲記セザルコト
- 三 現行調理様式ニ定ムルモノノ外勞働手當以外ノ諸手當ニシテ恒例ニ屬スルモノノ證明ニ付テモ恒例諸給與支給調書ニ依ルコトヲ得

○辭令

○昭和十六年十二月二十七日

(各通)

敍從六位

- | | |
|----------|-------|
| 海軍工作特務大尉 | 本村長太郎 |
| 海軍特務中尉 | 大槻善雄 |
| 海軍特務中尉 | 加波孝四郎 |
| 海軍特務少尉 | 坂田小三郎 |
| 同 | 福永松太郎 |

海軍公報(部内限)第四千號 昭和十七年一月二十二日

海軍技師	川田 雄一
同	江口 吟三
同	橋本 啓介
同	今井 恭
同	室賀 伸太郎
同	若島 久男
同	藤野 良雄
同	永島 富雄
同	神谷 喜久壽
同	清原 徹
同	神門 芳夫
同	池田 兆祿郎
同	寺尾 貞一
同	相田 八之助
同	福本 實
海軍書記	森 榮一
同	住友 増造
同	梅村 富太郎
同	今井 友次郎

(各通)

敘正七位

(各通)

敘從七位

海軍艦政本部造兵 監督官海軍大佐 菊山 脩五郎

神戶監理官ヲ命ス (二十海軍省) 海軍司政長官 池田 清

海南海軍特務部總監ヲ命ス (二十同)

○ 雜 款

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

佐世保郵便局氣付

(第三 艦 隊)

佐世保郵便局經由

第四十一海軍軍用郵便所

第一派出所氣付 (軍事郵便)

(第三 水 雷 戰 隊)

佐世保郵便局經由

第四十一海軍軍用郵便所

第一派出所氣付 (軍事郵便)

(第四 潜 水 戰 隊)

佐世保郵便局氣付

海軍赤石部隊 (軍事郵便)
(海軍尾崎部隊)

海軍公報(部内限)第四千一號

昭和十七年一月二十三日(金)
海軍大臣官房

○令 達

官房第三三五號

當分ノ間海軍艦政本部會計部ヲ部内限ニ班ニ分チ左ノ
通事務ヲ掌理スルコトヲ得

昭和十七年一月二十二日

海軍大臣

(限 内 部)

- 第一條 班長及班員ヲ置キ海軍艦政本部長ノ定ムル所
ニ依リ海軍艦政本部會計部ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ
- 第二條 班長ハ會計部長ノ命ヲ承ケ班務ヲ掌ル
- 第三條 班員ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス
- 第四條 第一班ハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 艦政本部關係豫算ニ關スルコト
 - 二 共濟組合政府給與金ノ調査及整理ニ關スルコト
 - 三 艦政本部關係工作應工具ノ給與ニ關スルコト
 - 四 海軍工作應工事費整理規則ニ關スルコト
 - 五 艦政本部關係工作應ノ會計ノ狀況調査ニ關スル

- 六 艦政本部關係工作應ニ於ケル會計部ノ諸施設ニ
關スルコト
- 七 所掌事項ノ出師準備ニ關スルコト
- 八 造船造兵監督會計官及會計關係ノ監督書記ニ關
スルコト
- 九 艦政本部製圖工場工員ノ給與及同工場用材料物
品ノ準備ニ關スルコト
- 十 統計及年報材料ニ關スルコト
- 十一 各班ノ事務ノ連絡及綜合ニ關スルコト
- 第五條 第二班ハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 造船造兵其ノ他關係契約書案ノ調製ニ關スルコ
ト
 - 二 契約ニ關スル事項ノ調査及立案ニ關スルコト
 - 三 造船造兵材料ノ調達及配給ニ關スルコト
 - 四 物資及物價ノ調査ニ關スルコト
 - 五 關係重要物資ノ配給證明及輸入證明ニ關スルコ
ト

海軍公報(部内限)第四千一號 昭和十七年一月二十三日

六三

- 六 艦船及器具タル國有財産並ニ工作物タル有線通信裝置ノ管理及取扱ニ關スルコト
- 七 艦政本部關係工作應ニ於ケル材料ノ準備及保管ノ現狀調査ニ關スルコト
- 八 關係部外工場ノ經營狀態及契約原價ノ調査ニ關スルコト

○ 通牒

軍務一機密第四五號

昭和十七年一月二十三日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

航空事故調査ニ關スル件申進

航空統計資料作製上必要ニ付航空作戦中生ジタル航空機ノ大破、燒失、人員ノ死傷其ノ他重大ナルモノニ付テモ海軍航空隊職員服務規程第十三條ニ準ジ概ネ左記事項ニ付報告(通報)相成度

記

- 一 航空機名
- 二 發生年月日時及場所

- 三 作戰種別
- 四 搭乗員官階氏名
- 五 損傷ノ程度
- 六 經過概略
- 七 原因
- 八 所見

兵備二機密第七一號

昭和十七年一月二十日

海軍省兵備局長

關係各部署局長 各監理長 殿

特殊鋼需給統制ニ關スル件通知

今般商工省令第二號ニ依リ首題規則發布相成候ニ付テハ海軍關係民間工場用特殊鋼ノ割當證明書ノ發行ハ當分ノ間左記ニ依リ處理スルコト相成候條了知相成度

記

一 民間受註工場契約ニ基キ特殊鋼ノ配給ヲ受ケントスルモノハ各期ノ所要額ニ付一括各四半期毎ニ當該四半期ノ二箇月前迄ニ割當中請書(記載事項ハ割當證明書ニ同シ)一通(艦政本部、航空本部關係契約ニ在リテハ二通)ヲ當該主務部局ニ提出スルモノト

ス但シ艦政本部、航空本部關係契約ニ在リテハ監督長（首席監督官）ヲ經由スルモノトス
 前項申請書中監督官經由ノモノニ在リテハ監督長（首席監督官）審査ノ上所見ヲ附スルモノトス
 二 各部局ハ第一項期日後十五日以内ニ別紙様式ニ依ル割當證明書ヲ發行シ申請者ニ交付スルモノトス但シ艦政本部、航空本部關係契約ノモノニ在リテハ別ニ寫ヲ監督長（首席監督官）ニ送付スルモノトス
 三 別紙様式割當證明書記事欄資源名ノ記註ハ構造用鋼及工具鋼ノ二種別トシ品名ハ記入セザルモノトス
 四 昭和十六年度取得ノ分ニ付テハ昭和十七年一月二十日以後授受ノモノニ對シ直接各部局ニ割當申請書ヲ提出セシメ割當證明書ヲ交付スルモノトス
 （様式添）

○ 辭令

今木 萬壽男
 海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス（昭和十六年十一月十五號）
 海軍省） 樺太廳氣象臺技師 重富 剛策
 大泊ニ於ケル地磁氣觀測事務囑託ヲ解ク（昭和十六年十一月十六日同）

第一遣支艦隊ニ於ケル武道教練囑託ヲ解ク（昭和十六年十一月十六日同）
 秋根 昌美
 巖野 可明

横須賀鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス（昭和十六年十一月十六日同）
 色川 康夫
 宮田 壽雄

横須賀鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託ス
 但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
 石 黒 基
 染川 英彦

吳鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託ス
 但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
 香川 高喜
 川村 吉信

佐世保鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託ス
 但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス（以上昭和十六年十一月十六日同）

海軍公報（部内限）第四千一號 昭和十七年一月二十三日

伊藤 淺次郎

軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(昭和十六年同)

大田川 觀二

第三南遣艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

東 信隆

第三南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上三同)

木 村 晃

千貳拾圓

千貳拾圓

(各通) 千貳拾圓

千貳拾圓

九百六拾圓

千百參拾圓

第十一海軍航空廠發動機部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官

待遇トス

千貳拾圓

(各通) 千貳拾圓

九百六拾圓

第十一海軍航空廠兵器部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

千貳拾圓

(各通) 千貳拾圓

九百六拾圓

第十一海軍航空廠飛行機部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上三同)

千貳拾圓

(各通) 千貳拾圓

九百六拾圓

軍令部ニ於ケル調査事務囑託ヲ解ク

千貳拾圓

(各通) 千貳拾圓

九百六拾圓

第十一海軍航空廠飛行機部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上三同)

千貳拾圓

(各通) 千貳拾圓

九百六拾圓

軍令部ニ於ケル調査事務囑託ヲ解ク

千貳拾圓

(各通) 千貳拾圓

九百六拾圓

第十一海軍航空廠飛行機部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

六六

榑 博

卯木 文作

西原 英男

鈴木 敏夫

田 和 勉

松島 正浩

小坂 賢二

伊形 三男

石井 淺八

櫻井 喜三郎

長田 太一郎

天野 次郎

杉山 榮一

同	神尾 健夫	海軍豫備少尉	宮崎 齋之助
同	吉田 浩哉	海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ報酬年額百圓ヲ贈與ス	
同	荻原 博	海軍豫備少佐	武谷 七郎
朝鮮總督府遞信技師	津田 常男	大阪在勤海軍武官府ニ於ケル業務ヲ囑託ス	
臺灣總督府交通局技師	大畀 雄次	海軍豫備大尉	坪川 五郎
海軍艦政本部ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額百五拾圓ヲ贈與ス		大阪警備府ニ於ケル事務ヲ囑託ス	
海軍豫備少佐	山折 儀市	釜山在勤海軍武官府ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス	今田 進
同	堀内 信夫	清津在勤海軍武官府ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス	瀧口 駒生
海軍豫備大尉	井上 拾吉	鎮海警備府ニ於ケル業務ヲ囑託ス	小林 義男
同	廣岡 清	海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス	中川 善二郎
同	山下 博明	(各通)	原口 泰藏
海軍豫備中尉	増田 宗一	海軍省事務囑託ヲ解ク	
同	矢原 森太郎		
横須賀鎮守府ニ於ケル水先業務ヲ囑託ス(以上三同)			
東京帝國大學助教	星野 昌一		
海軍施設本部ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス			
厚生科學研究所助教	吉川 春壽		
海軍航空技術廠醫務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ報酬年額五百圓ヲ贈與ス			

海軍公報(部内限)第四千一號 昭和十七年一月二十三日

六七

(各通)

遞信書記官 三村 令二郎

遞信技師 佐々木 卓夫

海軍省事務囑託ヲ解ク

杉野 茂

海軍ニ於ケル造船業務囑託ヲ解ク(以上三員同)

軍令部出仕海軍教授 伊藤 庸雄

臨時歐州戰爭軍事調査部勤務ヲ命ス(臨時海軍司令部)

軍令部部員海軍中佐 川 瀬 薫

第三部第六課勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍中佐 芳根 廣雄

特務班勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍機關大佐 松永 三郎

第二部勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍機關中佐 渡部 正春

臨時歐州戰爭軍事調査部勤務ヲ命ス(以上三員同)

軍令部出仕海軍軍醫少佐 栗林 護

臨時戰史部勤務ヲ命ス

海軍主計少尉候補生 志鶴 一衛

(各通)

同 藤井 保

同 桃澤 力

特務班長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上三員同)

第三部第八課勤務ヲ命ス(五員同)

軍令部部員海軍中佐 吉井 道教

(各通)

同 井桁 貞敏

特務班勤務ヲ命ス

同 齊藤 榮治

第三部第七課勤務ヲ命ス(以上三員同)

同 田中 敬次郎

(各通)

通信部第十課勤務ヲ命ス(八員同) 大本營海軍部)

同 鮫島 龍男

參謀部第三部第六課兼報道部第一課勤務ヲ命ス

同 海軍兵曹長 松野 芳雄

通信部第十一課勤務ヲ命ス

同 森田 榮吉

通信部第十課勤務ヲ命ス(以上三員同)

同 海軍中佐 川 瀬 薫

參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス

同 海軍兵曹長 小 熊 值

特務班班員ヲ命ス(以上三員同)

同 海軍少佐 稻見 高男

同 海軍大尉 佐竹 太右門

(各通)
海軍中佐 吉井 道教
海軍大尉 吉田 俊雄
參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス(以上一併同)

○ 雜 款

○將旗移揚
第五根據地隊司令官ハ一月二十日將旗ヲ陸上司令部ニ
移揚セリ

○事務所撤去
第五艦隊司令部事務所ヲ一月二十日撤去セリ

海軍公報(部内限) 第四千一號 昭和十七年二月二十三日

六九

1100

(別紙様式)

第 一 號	資 源 名	數 量	受 配 給 者	發 行 年 月 日	備 考	發 行 官
軍需特殊鋼割當證明書						海軍省

(昭和十七年二月二十三日海軍公報(部内限))

1101